

佐賀県 脱炭素経営セミナー



地球温暖化の深刻な影響が広く認識される中、企業における脱炭素経営の重要性が急速に高まってきています。

企業は自社の事業活動における温室効果ガスの削減と持続可能性を追求することで、地球環境問題に積極的に取り組む必要があります。そのためには脱炭素経営というアプローチが重要な役割を果たします。

本セミナーでは、県内民間事業者の方を対象として、脱炭素経営が求められる背景と実践例を紹介します。

会場・日時

6月26日 月 14:00~16:45
(受付開始13:30)

ガーデンテラス佐賀 ホテル&リゾート
3階 グランドテラス セントラル
(佐賀県佐賀市新栄東3丁目7-8)

参加
無料

定員 100名

プログラム

※プログラム順序、内容につきましては、変更となる場合がありますのでご了承ください。



第1部 基調講演

- 14:00 開会挨拶 佐賀県
- 14:05 基調講演1「脱炭素経営が求められている背景」
(登壇者:株式会社日本総合研究所 足達 英一郎)
- 14:45 休憩(15分)
- 15:00 基調講演2「脱炭素経営推進のための実践例」
(登壇者:オーエスジー株式会社 川村 淳一)
- 15:20 閉会挨拶 株式会社日本総合研究所



第2部 相談会

15:45~16:45 以下のテーマについて個別相談会を開催

1. 「モデル企業」(伴走支援)に関する相談
(応対者:田島株式会社、株式会社日本総合研究所)
2. CO2排出量の算定、削減支援のシステム化に関する相談
(応対者:株式会社三井住友銀行)
3. 脱炭素経営推進における資金調達面に関する相談
(応対者:株式会社佐賀銀行)



登壇者プロフィール



足達 英一郎(あだち えいいちろう)氏

株式会社日本総合研究所 常務理事、未来社会価値研究所 所長 (社内組織)

1990年に入社後、1999年から環境問題を始めとするサステナビリティの諸課題を切り口にした産業調査、企業評価の業務に従事。専門テーマは、環境経営、企業の社会的責任、環境金融、サステナブルファイナンス。金融庁「サステナブルファイナンス有識者会議」メンバー(2020～)、「ISO TC322(Sustainable Finance)国内委員会」委員長ならびにISO TC322日本国エキスパート(2022)等を歴任。



川村 淳一(かわむら じゅんいち)氏

オーエスジー株式会社 経理部長

1987年に住友銀行入行、支店・海外拠点(シンガポール、台北他)・法人営業部での勤務を経て、2015年にオーエスジー株式会社に経理部長として入社。2017年に人事総務部長、2021年にサステナビリティ推進室長に就任。全社横断的に脱炭素経営を推進し、現在に至る。

お申し込み方法



左のQRコードを読み取り、申し込みフォームへ必要情報を記入してください。以下のURLからもアクセス可能です。

URL:<https://logoform.jp/form/jbBd/284224>

●申し込み締切: **6月19日(月)17:00**

(会場の都合上、定員に達し次第締め切らせて頂きます)



アクセス

JRでお越しの場合

- ・タクシー: 佐賀駅南口より約8分
- ・バス: 佐賀駅バスセンター(2番のりば)より約10分
[58番 中折經由鍋島駅行 — 新栄小前下車]



(出所)<https://www.gt-saga.jp/access.html>

【お問合せ先】

佐賀県 産業グリーン化推進グループ
 担当: 谷口、中山
 〒840-8570 佐賀市城内1丁目1-59
 TEL: 0952-25-7380
 E-mail: sangyou-green@pref.saga.lg.jp



主催: 佐賀県 産業グリーン化推進グループ